# 職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年	711 (0.1	長名	- 1	14 0055	所在地							
日本工学院専門	門学校	昭和51年7月	中村	(住所) 東	44-8655 寛宗都大田区西蒲田5-23-22 3-3732-1111									
設置者名		設立認可年	月日 代表	者名		14-8655	所在地							
学校法人片柳	学園	昭和25年3月	1日 千葉	千葉 茂 (住所)		「京都大田区西蒲田 第-6424-1111	35-23-22							
分野	Ī	認定課程名	認定学科名	í		士認定年度	高度専門士認定	年度	職業実践専	<b>專門課程認定年度</b>				
文化•教養	芸	術専門課程	マンガ・アニメーシ	/ョン科	平成19	9(2007)年度	-		平成2	27(2015)年度				
学科の目的	デッサンや	アナログ描画などの基	で活躍する人材の育成。 基礎描画力向上から、様 青報更新を行っている。	々なデジタル	コンテンツの制	制作に対応するデジ	タル制作スキルの強化に	も注力し、	業界が求めて	ている人物像の情報				
学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等)	中途退学者	音 12名(5.65%)												
修業年限	昼夜		を な総授業時数又は総単 立数	講	義	演習	実習	実馬	験	実技				
2 年	昼間	※単位時間、単位いずれ かに記入	1,740 単位時間		単位時間単位	単位時間単位	3,690 単位時間 単位		単位時間単位	単位時間単位				
生徒総定員	生徒実	€員(A) 留学生	主数(生徒実員の内数)(B)	留学生割	J合(B/A)									
320 人	248		63 人	25	%									
	■卒業者 ■就職希	数(C) : 望者数(D) :		-	<u> </u>									
	■就職者	数(E) :	106		<del>\( \)</del>									
	■地元就 ■就職率	職者数(F) (E/D)	41 81		<u>人</u> %									
		に占める地元就職者の	の割合 (F/E)											
	■卒業者に	こ占める就職者の割合	31 (E/C)		%									
	■進学者		73		%									
就職等の状況	■進字石	9X	14		^									
	25人													
	207													
	(令和		者に関する令和7年5月1	日時点の情	報)									
	■主な就り (令和6年度	微先、業界等 ※※## 〉												
			生 出版 和 別 業 果	(株式会社	タツノコプロ	株式会社講談社、	株式会社小学館、ソフ	トバンク株	式会社、株	式会社A-1 Pi				
	ures、株式	式会社チップチューン	ィ、株式会社TOブックス											
- マニャートス	ures、株式 ■民間の		ノ、株式会社TOブックス E者評価:			erks 等) 無								
第三者による 学校評価	ures、株3 ■民間の ※有の場合	式会社チップチューン 評価機関等から第3 、例えば以下について(	ノ、株式会社TOブックス E者評価: <sup>E</sup> 意記載	、株式会社			評価結果を掲載した							
	ures、株3 ■民間の ※有の場合	式会社チップチューン 評価機関等から第3	ノ、株式会社TOブックス E者評価: <sup>E</sup> 意記載				評価結果を掲載した ホームページURL							
学校評価 当該学科の	ures、株式 ■民間の ※有の場合	式会社チップチューン 評価機関等から第3、例えば以下についてイ 評価団体:	ノ、株式会社TOブックス E者評価 : H意記載	<b>、株式会社</b> 受審年月:			評価結果を掲載した ホームページURL							
学校評価	ures、株式 ■民間の ※有の場合	式会社チップチューン 評価機関等から第3、例えば以下についてイ 評価団体:	ノ、株式会社TOブックス E者評価: <sup>E</sup> 意記載	<b>、株式会社</b> 受審年月:			評価結果を掲載した ホームページURL							
学校評価 当該学科の ホームページ	ures、株式 ■民間の ※有の場合 http://ww	式会社チップチューン 評価機関等から第3、例えば以下についてイ 評価団体:	ノ、株式会社TOブックス E者評価 : H意記載	<b>、株式会社</b> 受審年月:			評価結果を掲載した ホームページURL							
学校評価 当該学科の ホームページ	ures、株式 ■民間の ※有の場合 http://ww	式会社チップチューン 評価機関等から第三、例えば以下について付 評価団体: w.neec.ac.jp/depart	ノ、株式会社TOブックス E者評価 : H意記載	<b>、株式会社</b> 受審年月:			評価結果を掲載した ホームページURL		単位時間					
学校評価 当該学科の ホームページ	ures、株式 ■民間の ※有の場合 http://ww	式会社チップチューン 評価機関等から第三 、例えば以下について付 評価団体: wneec.ac.jp/depart 時間による算定) 総授業時数	ノ、株式会社TOブックス E者評価 : H意記載	受審年月:	:Clover Wc		評価結果を掲載した ホームページURL		単位時間単位時間					
学校評価 当該学科の ホームページ	ures、株式 ■民間の ※有の場合 http://ww	式会社チップチューン 評価機関等から第三 、例えば以下について付 評価団体: wneec.ac.jp/depart 時間による算定) 総授業時数 うち企業	v、株式会社TOブックス ・ 著評価: 田意記載 ment/design/graphics/	受審年月: ・実技の授業	:Clover Wc		評価結果を掲載した ホームページURL	j						
学校評価 当該学科の ホームページ	ures、株式 ■民間の ※有の場合 http://ww	式会社チップチューン 評価機関等から第三 、例えば以下について付 評価団体: wneec.ac.jp/depart 時間による算定) 総授業時数 うち企業	v、株式会社TOブックス ・ 君評価: 田意記載 ment/design/graphics/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授業	受審年月: ・実技の授業	:Clover Wc		評価結果を掲載したホームページURL	j	単位時間					
学校評価 当該学科の ホームページ	ures、株式 ■民間の ※有の場合 http://ww	式会社チップチューン 評価機関等から第三 、例えば以下について付 評価団体: wneec.ac.ip/depart 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	v、株式会社TOブックス ・ 君評価: 田意記載 ment/design/graphics/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授業	、株式会社 受審年月: ・実技の授業 時数	tClover Wo	無	評価結果を掲載したホームページURL		単位時間					
学校評価 当該学科の ホームページ	ures、株式 ■民間の ※有の場合 http://ww	式会社チップチューン 評価機関等から第三 、例えば以下について付 評価団体: wneec.ac.ip/depart 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	ル、株式会社TOブックス ・ 者評価: ・ 田意記載 ment/design/graphics/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授業 授業時数	、株式会社 受審年月: ・実技の授業 必修の実験	tClover Wo ・ 実習・実技の	無	評価結果を掲載したホームページURL	] ] ]	単位時間単位時間単位時間					
学校評価 当該学科のホームページ URL	ures、株式 ■民間の ※有の場合 http://ww (A:単位	武会社チップチューン 評価機関等から第三、例えば以下について 評価団体: wneec.ac.jp/depart 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業	ル、株式会社TOブックス ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、株式会社 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 必修の実験 必修の実験	EClover Wo 薬時数 ・実習・実技の の授業時数	無	評価結果を掲載したホームページURL		単位時間単位時間単位時間単位時間					
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況	ures、株式 ■民間の/ ※有の場合 http://ww (A:単位	武会社チップチューン 評価機関等から第三、例えば以下について付 評価団体: wneec.ac.jp/depart 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち必修	ル、株式会社TOブックス ・ 著評価: ・ ま意記載 ment/design/graphics/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授業 授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	、株式会社 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 必修の実験 必修の実験	EClover Wo 薬時数 ・実習・実技の の授業時数	無	評価結果を掲載したホームページURL		単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間					
学校評価 当該学科のホームページ URL	ures、株式 ■民間の/ ※有の場合 http://ww (A:単位	式会社チップチューン 評価機関等から第三、例えば以下について付 評価団体: wneec.ac.jp/depart 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 (うち企 数による算定)	ル、株式会社TOブックス ・ 著評価: ・ ま意記載 ment/design/graphics/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授業 授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	、株式会社 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 必修の実験 必修の実験	EClover Wo 薬時数 ・実習・実技の の授業時数	無	評価結果を掲載したホームページURL		単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間					
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施洗した況(A、Bいずれか	ures、株式 ■民間の/ ※有の場合 http://ww (A:単位	式会社チップチューン 評価機関等から第三 、例えば以下について 評価団体: wneec.ac.jp/depart 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総授業時数	ノ、株式会社TOブックス ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、株式会社 受審年月: ・実技の授業 ・実技の授業 必修の実験 必修の実験	<ul><li>(こと) (こと) (こと) (こと) (こと) (こと) (こと) (こと)</li></ul>	無	評価結果を掲載した ホームページURL		単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間					
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施洗した況(A、Bいずれか	ures、株式 ■民間の/ ※有の場合 http://ww (A:単位	式会社チップチューン 評価機関等から第三、例えば以下について付 評価団体: wneec.ac.jp/depart 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	、株式会社TOブックス ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、株式会社 受審年月: ・実技の授業 時数 必修の実験 必修の実験 ・実技の授業	<ul><li>(こと) (こと) (こと) (こと) (こと) (こと) (こと) (こと)</li></ul>	無	評価結果を掲載したホームページURL		単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間					
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施洗した況へん、Bいずれか	ures、株式 ■民間の/ ※有の場合 http://ww (A:単位	式会社チップチューン 評価機関等から第三 、例えば以下について 評価団体: wneec.ac.jp/depart 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業	、株式会社TOブックス ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、株式会社 受審年月: ・実技の授業 時数 必修の実験 必修の実験 ・実技の授業	<ul><li>(こと) (こと) (こと) (こと) (こと) (こと) (こと) (こと)</li></ul>	無	評価結果を掲載したホームページURL	1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間					
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施洗した況へん、Bいずれか	ures、株式 ■民間の/ ※有の場合 http://ww (A:単位	式会社チップチューン 評価機関等から第三、例えば以下について付 評価団体: wneec.ac.jp/depart 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	ノ、株式会社TOブックス ・ 著評価: ・ ま意記載 ・ 本書評価: ・ まま記載 ・ 本書を連携した実験・実習 ・ 等と連携した演習の授業 ・ 表書をと連携した ・ 方企業等と連携した ・ 方を企業等と連携した ・ まきと連携した実験・実習 ・ 等と連携した実験・実習 ・ 等と連携した演習の授業 ・ 表書をと連携した演習の授業 ・ 表書をを連携した演習の授業 ・ 表書をを連携した演習の授業 ・ 表書を	、株式会社 受審年月: ・実技の授業 時数 必修の実験 必修の演習 ンシップの担 ・実技の授業	<ul><li>(こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ)</li></ul>	無	評価結果を掲載したホームページURL	1	単位時間 単位時間 単位 世位 単位 単位 単位					
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施洗した況へん、Bいずれか	ures、株式 ■民間の/ ※有の場合 http://ww (A:単位	式会社チップチューン 評価機関等から第三 、例えば以下について 評価団体: wneec.ac.jp/depart 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業	、株式会社TOブックス ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	、株式会社 受審年月: ・実技の授業 時数 必修の実験 必修の実験 ・実技の授業 ・実技の授業	<ul><li>(こと) (こと) (こと) (こと) (こと) (こと) (こと) (こと)</li></ul>	無	評価結果を掲載したホームページURL		単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間					
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施洗した況(A、Bいずれか	ures、株式 ■民間の/ ※有の場合 http://ww (A:単位	武会社チップチューン 評価機関等から第三 、例えば以下について 評価機関等 ののは以下について 評価団体: wneec.ac.jp/depart 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	ノ、株式会社TOブックス ・ 著評価: ・ ま意記載 ・ 本書評価: ・ まま記載 ・ 本書を連携した実験・実習 ・ 等と連携した演習の授業 ・ 授業時数 ・ うち企業等と連携した ・ ま等と連携した実験・実習 ・ 等と連携した実験・実習 ・ 等と連携した実験・実習 ・ 等と連携した演習の授業 ・ 表等と連携した演習の授業 ・ 表等と連携した演習の授業 ・ 表等と連携した演習の授業 ・ 表等と連携した	、株式会社 受審年月: ・実技の授業 時数 必修の実験 必修の実験 からないプの担 ・実技の授業 ・実技の授業	<ul> <li>(こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ)</li></ul>	無	評価結果を掲載したホームページURL		単位時間 単位時間 単位時間 単単位時間 単位 単位 単位 単位					
学校評価 当該学科のホームページ URL  企業等をと連携しした に名へ、Bいずれか	ures、株式 ■民間の/ ※有の場合 http://ww (A:単位	武会社チップチューン 評価機関等から第三 、例えば以下について 評価機関等 ののは以下について 評価団体: wneec.ac.jp/depart 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	ノ、株式会社TOブックス ・ 選評価: ・ ま意記載 ・ 本書評価: ・ まま記載 ・ 本書記載 ・ 本書と連携した実験・実習 ・ 等と連携した演習の授業 ・ 表書と連携した ・ 本書と連携した ・ 本書と連携した ・ 実等と連携した ・ 実習 ・ を連携した演習の授業 ・ 表書と連携した ・ 実習 ・ を連携した ・ 表書と連携した ・ 表書と連携した ・ 表書と連携した ・ 表書と連携した ・ 方の企業等と連携した ・ 方の企業等と連携した ・ 方の企業等と連携した ・ 方の企業等と連携した ・ 方の企業等と連携した	、株式会社 受審年月: ・実技の授業 時数 必修の実験 必修の実験 からないプの担 ・実技の授業 ・実技の授業	<ul> <li>(こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ)</li></ul>	無	評価結果を掲載したホームページURL		単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位					
学校評価 当該学科のホームページ URL  企業等をと連携しした に名へ、Bいずれか	ures、株式 ■民間の/ ※有の場合 http://ww (A:単位	武会社チップチューン 評価機関等から第三 、例えば以下について 評価機関等 ののは以下について 評価団体: wneec.ac.jp/depart 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 (うち企 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修	ノ、株式会社TOブックス ・ 選評価: ・ ま意記載 ・ 本書評価: ・ まま記載 ・ 本書記載 ・ 本書と連携した実験・実習 ・ 等と連携した演習の授業 ・ 表書と連携した ・ 本書と連携した ・ 本書と連携した ・ 実等と連携した ・ 実習 ・ を連携した演習の授業 ・ 表書と連携した ・ 実習 ・ を連携した ・ 表書と連携した ・ 表書と連携した ・ 表書と連携した ・ 表書と連携した ・ 方の企業等と連携した ・ 方の企業等と連携した ・ 方の企業等と連携した ・ 方の企業等と連携した ・ 方の企業等と連携した	、株式会社 受審年月: ・実技の授業 時数 必修の実験 必修の実験 からないプの担 ・実技の授業 ・実技の授業	<ul> <li>(こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ) (こ)</li></ul>	無	評価結果を掲載したホームページURL		単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位					
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施洗した況へん、Bいずれか	ures、株式 ■民間の/ ※有の場合 http://ww (A:単位	武会社チップチューン 評価機関等から第三 、例えば以下について 評価機関等のの第三 、例えば以下について 評価団体 :  wneec.ac.jp/depart  時間による算定)  総授業時数	ノ、株式会社TOブックス ・ 選評価: ・ ま意記載 ・ 本書評価: ・ まま記載 ・ 本書記載 ・ 本書と連携した実験・実習 ・ 等と連携した演習の授業 ・ 表書と連携した ・ 本書と連携した ・ 本書と連携した ・ 実等と連携した ・ 実習 ・ を連携した演習の授業 ・ 表書と連携した ・ 実習 ・ を連携した ・ 表書と連携した ・ 表書と連携した ・ 表書と連携した ・ 表書と連携した ・ 方の企業等と連携した ・ 方の企業等と連携した ・ 方の企業等と連携した ・ 方の企業等と連携した ・ 方の企業等と連携した	、株式会社 ・ 実技の授業 ・ 実技の授業 ・ 学数 ・ 必修の実験 ・ 時数 ・ 必修のプラの担 ・ 実技の授業 ・ 等数 ・ とので演習の担 ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも	<ul> <li>(Clover Wood)</li> <li>(表)</li> <l< td=""><td>無</td><td>ホームページURL</td><td></td><td>単位時間 単単単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位</td><td></td></l<></ul>	無	ホームページURL		単位時間 単単単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位 単単位					
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等の実施洗した況(A、Bいずれか	ures、株式 ■民間の/ ※有の場合 http://ww (A:単位	式会社チップチューン 評価機関等から第三、例えば以下について 評価機関等から第三、例えば以下について 評価機関等から第三 の見ば以下について 評価団体: wneec.ac.ip/depart 時間による算定 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企 の有質で のの情報学校のの専門等での修業が関係といる。	、株式会社TOブックス 正者評価: 王意記載  ment/design/graphics/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授業 授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した すち企業等と連携した まで表現した。	、株式会社 ・ 実技の授業 ・ 実技の授業 ・ 学数 ・ 必修の実験 ・ 時数 ・ 必修のプラの担 ・ 実技の授業 ・ 等数 ・ とので演習の担 ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも	<ul> <li>(専修学校)</li> <li>(専修学校)</li> </ul>	無 D授業時数	ホームページURL (事1号)		単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 位時間 単位 位 単単位 位 単単位 位 単単位 位 単単位					
学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等を実施状況 (A、Bいずれか に記入)	ures、株式 ■民間の場合 ※有の場合 http://ww	武会社チップチューン 評価機関等から第三 、例えば以下について( 評価団体 :  wneec.ac.jp/depart  時間による算定)  総授業時数	、株式会社TOブックス 三者評価: 王意記載  ment/design/graphics/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授業 授業等数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等に連携した っち企業等に連携した っち企業等に連携した っち企業等に連携した っち企業等に連携した っち企業等に対するって、 業務に従事した利間とを する者等	、株式会社 ・ 実技の授業 ・ 実技の授業 ・ 学数 ・ 必修の実験 ・ 時数 ・ 必修のプラの担 ・ 実技の授業 ・ 等数 ・ とので演習の担 ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも	<ul> <li>(専修学校)</li> <li>(専修学校)</li> </ul>	無 D授業時数 D授業時数 設置基準第41条第1項	ホームページURL 類第1号)	1	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 単位 単位 単位 単位 単位 単位 上半 単位 上半 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上					
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施大れかに記入)	ures、株式 ■民間の場合 ※有の場合 http://ww	式会社チップチューン 評価機関等から第三、例えば以下について( 評価間体: wneec.ac.jp/depart 時間による算定) 総授業時数 うち企業 うち必修 数による算定) 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 での事業 うち企業 での物業する教育等 年以上となる教育等 にのの修業年収者 での世をする教育等 でのの修業年収者 での学位を有	ス、株式会社TOブックス 正者評価: 王意記載  ment/design/graphics/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授業 授業時数 うち企業等と連携した すち企業等と連携した ま等と連携した演習の授業 授業時数 うち企業等と連携した すち企業等と連携した ま等と連携した ま等と連携した ま等と連携した まであって、 ま等と連携したすであって、 ま様に従事したもであって、 ま様に まずる者等	、株式会社 ・ 実技の授業 ・ 実技の授業 ・ 学数 ・ 必修の実験 ・ 時数 ・ 必修のプラの担 ・ 実技の授業 ・ 等数 ・ とので演習の担 ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも	<ul> <li>(事修学校)</li> <li>(事修学校)</li> </ul>	無 D授業時数 D授業時数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	ホームページURL 類第1号) 類第2号) 類第3号)	10.	単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位時間 単位 中間 単単位 中間 単単位 単単位 単単位 上単位 上単位 上半 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上 上					
学校評価 当該学科のボームページ URL と連携施ずれのに記れた。 と連び入した況か に記れたのの属性性(専任	ures、株式 ■民間の場合 ※有の場合 http://ww	式会社チップチューン 評価機関等から第三、例えば以下について 評価機関等から第三、例えば以下について 評価機関等から第三、例えば以下について 評価団体 : wneec.ac.jp/depart 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ス、株式会社TOブックス 正者評価: 王意記載  ment/design/graphics/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授業 授業時数 うち企業等と連携した すち企業等と連携した ま等と連携した演習の授業 授業時数 うち企業等と連携した すち企業等と連携した ま等と連携した ま等と連携した ま等と連携した まであって、 ま等と連携したすであって、 ま様に従事したもであって、 ま様に まずる者等	、株式会社 ・ 実技の授業 ・ 実技の授業 ・ 学数 ・ 必修の実験 ・ 時数 ・ 必修のプラの担 ・ 実技の授業 ・ 等数 ・ とので演習の担 ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも	<ul> <li>(専修学校)</li> <li>(専修学校)</li> <li>(専修学校)</li> </ul>	無 D授業時数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	ホームページURL (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事)	10.	単位時間 単位時間 単位時間 単位は時間 単位は時間 単位は 単単位  単単位  上世位  上世位  上世位  上世位  上世位  上世位					
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携様した況からに記入)	ures、株式 ■民間の場合 ※有の場合 http://ww	武会社チップチューン  評価機関等から第三  (例えば以下について  評価機関等から第三  (例えば以下について  評価ではいます。  (例えば以下について  評価ではいます。  (別表情)  (	ス、株式会社TOブックス 正者評価: 王意記載  ment/design/graphics/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授業 授業時数 うち企業等と連携した すち企業等と連携した ま等と連携した演習の授業 授業時数 うち企業等と連携した すち企業等と連携した ま等と連携した ま等と連携した ま等と連携した まであって、 ま等と連携したすであって、 ま様に従事したもであって、 ま様に まずる者等	、株式会社 ・ 実技の授業 ・ 実技の授業 ・ 学数 ・ 必修の実験 ・ 時数 ・ 必修のプラの担 ・ 実技の授業 ・ 等数 ・ とので演習の担 ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも	<ul> <li>(専修学校)</li> <li>(専修学校)</li> <li>(専修学校)</li> </ul>	無 D授業時数 D授業時数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	ホームページURL (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事)	10.	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単					
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の実施がれかに記入)	ures、株式 ■民間の場合 ※有の場合 http://ww	式会社チップチューン 評価機関等から第三、例えば以下について 評価機関等から第三、例えば以下について 評価機関等から第三、例えば以下について 評価団体 : wneec.ac.jp/depart 総授業時数 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 うち企業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ス、株式会社TOブックス 正者評価: 王意記載  ment/design/graphics/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授業 授業時数 うち企業等と連携した すち企業等と連携した ま等と連携した演習の授業 授業時数 うち企業等と連携した すち企業等と連携した ま等と連携した ま等と連携した ま等と連携した まであって、 ま等と連携したすであって、 ま様に従事したもであって、 ま様に まずる者等	、株式会社 ・ 実技の授業 ・ 実技の授業 ・ 学数 ・ 必修の実験 ・ 時数 ・ 必修のプラの担 ・ 実技の授業 ・ 等数 ・ とので演習の担 ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも ・ にも	<ul> <li>(専修学校)</li> <li>(専修学校)</li> <li>(専修学校)</li> </ul>	無 D授業時数 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項 設置基準第41条第1項	ホームページURL (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事) (事)	10.	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単					
学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の実施がれかに記入)	ures、株式 ■民間の場合 ※有の場合 http://ww	武会社チップチューン 評価機関等から第三、例えば以下について 評価機関等から第三、例えば以下について 評価ではいて 評価ではいて がいれて がいれて がいれて がいれて がいれて がいれて がいれて がいれて がいれて がいれて がいれて でいまする でいまる でいまする でいまする でいまする でいまする でいまする でいまする でいまする でいまする でいまする でいまする でいまする でいまする でいまする でいまする	ノ、株式会社TOブックス 正者評価: 王意記載  ment/design/graphics/ 等と連携した実験・実習 等と連携した演習の授業 授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 実験・図の授業 授業時数 うち企業等と連携した まちと連携した 実はした まちと連携した 実際を表した する者等 経験者 専門職学位	、株式会社 (大・時数 必必修り できません (大・時数 必必修りです。 (大・時数 必必修りです。 (大・時数 必必修りです。 (大・時数 必必修りです。 (大・時数 から できません (大・時数 から できません) (大・時数 から できません (大・時数 から できません) (大・時報 から できません)	にClover Wook  素時数 ・実習・実技の の授業時数 の授業時数 ・変習・実技の の授業時数 ・変習・実技の の授業時数 (専修学校 (専修学校 (専修学校 (専修学校	無  D授業時数  D授業時数  D授業時数  設置基準第41条第1項  設置基準第41条第1項  設置基準第41条第1項  設置基準第41条第1項	ホームページURL 類第1号) 頁第2号) 頁第3号) 頁第5号)	10.	単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単単					
学校評価 当該学科のホームページ URL と連携施大れかに記入)	ures、株式 ■民間の場合 ※有の場合 http://ww	武会社チップチューン 評価機関等から第三、例えば以下について 評価機関等から第三、例えば以下について 評価ではいて 評価ではいて がいれて がいれて がいれて がいれて がいれて がいれて がいれて がいれて がいれて がいれて がいれて でいまする でいまる でいまする でいまする でいまする でいまする でいまする でいまする でいまする でいまする でいまする でいまする でいまする でいまする でいまする でいまする	ノ、株式会社TOブックス 「君評価: 「田童郎」 「田童郎」 「田童郎」 「本書記載  「本書記載  「本書記載 「本書記載」 「本書記載した。 「本書記載」 「本書記述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述	、株式会社 (大・時数 必必修り できません (大・時数 必必修りです。 (大・時数 必必修りです。 (大・時数 必必修りです。 (大・時数 必必修りです。 (大・時数 から できません (大・時数 から できません) (大・時数 から できません (大・時数 から できません) (大・時報 から できません)	にClover Wook  素時数 ・実習・実技の の授業時数 の授業時数 ・変習・実技の の授業時数 ・変習・実技の の授業時数 (専修学校 (専修学校 (専修学校 (専修学校	無  D授業時数  D授業時数  D授業時数  設置基準第41条第1項  設置基準第41条第1項  設置基準第41条第1項  設置基準第41条第1項	ホームページURL 類第1号) 頁第2号) 頁第3号) 頁第5号)	10.	単位時間 単位時間 単位時間 単位は時間 単位は時間 単位は時間 単位は時間 単位は時間 上単位 単位 上単位 上単位 上 上 人 人 人 人 人 人					

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

マンガ・アニメ・ゲーム分野に関し、適宜、企業等へのヒアリングを実施し、実務に関する知識、技術を調査して、カリキュラムに反映させる。またマンガ・アニメ・ゲーム分野に関し、年度毎に既存のカリキュラムについて総合的に検証する。授業科目のシラバスをもとに、科目担当教員と企業講師との間で意見交換を行い、内容や評価方法を定める。また、学習評価を踏まえ、授業内容・方法等について検証する。

#### (2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び 企業関係者から各3名以上を委員として構成する。

本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。

意思決定に関しては学科教員と学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名及び企業関係者と協議の上、教育学生支援部、副校長、校長と協議の上決定する。

# (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
近藤 真司	一般社団法人 日本動画協会	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	1
藤黒 素子	株式会社グラフィニカ	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	3
田中 唯	株式会社旭プロダクション	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	3
中村 英詞	日本工学院専門学校 校長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
前田 大輔	日本工学院専門学校 クリエイターズカレッジ カレッジ長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
大泉 佑一	日本工学院専門学校 クリエイターズカレッジ マンガ・アニメーション科 科長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
臺野 興憲	日本工学院専門学校 クリエイターズカレッジマンガ・アニメーション科 主任	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
中村 英詞	日本工学院専門学校 校長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
川合 正剛	日本工学院専門学校 クリエイターズカレッジ マンガ・アニメーション科 アニメーションコース	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
臼井 麻弥子	日本工学院専門学校 クリエイターズカレッジ マンガ・アニメーション科 アニメーションコース	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	_
			_
			_

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

# (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(3月、10月)

(開催日時(実績))

2025年3月28日

2025年10月(予定)

0

# (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員会の中では、デジタル作画とAIに関する議論を行った。

学科としては文化庁事業と連携をして、AIを用いた教育カリキュラムを構築し、企業導入を含めた特別講義を行っていく。

# 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

制作系の実習において実践的な指導を受けるためにアニメ開発の実績のある企業を選定している。また、指導を受けるにあ たっては各分野で必要となる知識、技術、制作管理能力を有している講師の派遣などの協力が得られることが可能な企業を 選定している。

# (2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学科担当教員と企業派遣講師との間でアニメーション技術や知識について意見を交換し、今の業界が求めている人材に関し ての議論を深めていく。

授業計画、評価方法、学生指導上の問題点、改善案などを計画し、実際に授業を行う。授業の成果物をもとに派遣講師が採 点し、学科担当教員が成績評価・単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

		\ <del>+</del> \\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
科 目 名	┃       科 目 概 要	連携企業等
AC概論1	米企業「iKHOR Labs」が開発し、米アニメ企業にも実践投入されているMagicPenの実技授業を展開。	iKHOR Labs
アニメーション実習1	kakacreationのAIシステムを学校に導入し、AIアニメーション制作を特別授業として展開。	kakacreation

#### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

- (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
- ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学 科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施すること により、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

#### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

アニメ業界デジタル勉強会 連携企業等: 顧問:夏目公一朗ヒューマンメディア 研修名:

2025年7月17日休 対象:アニメーションコース教職員 期間:

内容 『ヒットするアニメの企画を考える』

②指導力の修得・向上のための研修等

『いまさら聞けない生成AI ~ChatGPT、Gemini、Claude、何が違うの? 連携企業等: クリーク・アンド・リバー社 研修名: そもそもどう使うの?~』

2025年6月12日(木) 期間: 対象: 教職員

実際に生成AIを使いながら、0からビジネス文章を完成させる過程をお見せすることで、「そもそもどうやって 内容

使えばいいの?」という疑問を、実践を通じて解消。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

連携企業等: アニメーション制作会社など 研修名: AJPF産学交流会

期間: 2025年9月以降予定 対象: アニメ―ション業界

内容 デジタル制作人材カリキュラムのに関して

# ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 授業改善セミナー 連携企業等: 0

期間: 2025年8月26(火) 対象: 教職員

内容 若手教員の授業力向上など

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念•目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献·地域貢献
(11)国際交流	00000

<sup>※(10)</sup>及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

精神面による体調不良に悩む学生に対しての当校のサポート体制について委員に現状を説明したところ、多くの委員から以下のご意見を頂いた。

- ・企業内でも新入社員など若手が精神面による体調不良で就業に影響が出るケースが増えている。
- ・原因の一つとして、コロナ禍にあったここ数年で学生時代に人間関係構築の場が少なかった事も影響があるのではないか。 以上のご意見を踏まえ、当科では以下のように活用していく。
- ・在学中のみならず学生が社会に出てからも心身ともに健康に生活できるよう、学生時代にしか経験できない人間関係構築の場をより多くつくり、学業以外のイベントや部活動等に対しても支援に努めていく。
- ・当校には専門的な知識と経験を持つスタッフが在中するヘルスサポートセンターがあり、当科の担任は悩みを持つ学生に対して、ヘルスサポートセンターとの連携をより強め、安心して学生生活を送れるよう支援に努めていく。

#### (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社 最高顧問	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	IT企業等委員 /卒業生委員
正木 英治	株式会社マックス  専務取締役	~令和8年3月31日(1年)	地域関連/ 会計専門委員
壺阪 敏秀	道局長	~令和8年3月31日(1年)	クリエイターズ企 業等委員
小澤 賢侍	振興協会)		クリエイターズ/ デザイン企業等 委員
吉崎 彰	一般社団法人 大田工業連合会  事務局長		テクノロジー 企業等委員
今泉 裕人	事務局長	A 1 ( ) - \	ミュージック 企業等委員
宮地 裕	学校法人上野塾 東京実業高等学校  進路指導部部長	令和7年4月1日 ~令和8年3月31日(1年)	学校関連

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

#### (5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

√禾一ムペ━ジ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

https://www.neec.ac.jp/public/

公表時期: 令和7年9月30日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(2)各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3)教職員	教員・教員組織
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5)様々な教育活動・教育環境	施設・設備等
(6)学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7)学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8)学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	学校の現況、教育理念・目的・育成人材像、事業計画
(11)その他	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:

((ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

誌等の刊行物 ・ その他( https://www.neec.ac.jp/public/

公表時期: 令和7年9月30日

# 授業科目等の概要

	_			課程 マンガ・ブ	アニメーション科)											
		分類	į						授	業フ	法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演習	実験・実習・実技			専任		企業等との連携
1	0			キャリアデザ イン1	社会とネットワークにおけるコミュニケー ションについて考察し、その活用力を高めま す。	1 · 通	60	4	0			0		0		
2	0			メディア研究 1	様々な作品の時代背景や表現技法などの考察 から、今後の作品制作の発想力を養います。	1 · 前	60	4			0	0		0	0	
3	0				様々な作品の時代背景や表現技法などの考察 から、今後の作品制作の発想力を養います。	1 . 後	60	4			0	0		0	0	
4		0		AC概論1	アニメーション制作における、基本的な知 識、考え方、構想を学びます。	1 · 前	30	2	0			0		0		
5		0		AC概論2	アニメーション業界に関する、テクニック、 企画、手法について学びます。	1 • 後	30	2	0			0		0		
6		0		CC概論1	ゲーム制作における、基本的な知識、考え 方、構想を学びます。	1 • 前	30	2	0			0		0		
7		0		CC概論2	ゲーム業界に関する、テクニック、企画、手 法について学びます。	1 . 後	30	2	0			0		0		
8		0		MC概論1	マンガ制作における、基本的な知識、考え方、構想を学びます。	1 · 前	30	2	0			0		0		
9		0		MC概論2	マンガ業界に関する、テクニック、企画、手 法について学びます。	1 . 後	30	2	0			0		0		
10	0			デザイン演習 1	色彩構成や表現技法などを学び、色彩能力検 定取得を目指します。	1 · 前	30	2			0	0		0		
11	0			デザイン演習 2	色彩構成や表現技法などを学び、色彩能力検 定取得を目指します。	1 · 後	30	2			0	0		0		
12	0			デッサン実習 1	デッサンを通じて観察力や描画力を高めま す。	1 · 前	60	2			0	0		0	0	

13	0			デッサン実習 2	デッサンを通じて観察力や描画力を高めま す。	1 · 後	60	2			0	0		0		
14		0		アニメーショ ン実習1	アニメーション制作の基本テクニックの習得 と制作プロセスを理解します。	1 · 前	240	8			0	0		0	0	0
15		0		アニメーショ ン実習2	アニメーション制作の基本テクニックの習得 と制作プロセスを理解します。	1 · 後	240	8			0	0		0	0	0
16		0		キャラクター デザイン実習 1	キャラクターデザインやイラスト制作の基本 テクニックの習得と制作プロセスを理解しま す。	1 • 前	240	8			0	0		0	0	
17		0		キャラクター デザイン実習 2	キャラクターデザインやイラスト制作の基本 テクニックの習得と制作プロセスを理解しま す。	1 · 後	240	8			0	0		0	0	
18		0		マンガ実習1	マンガ制作の基本テクニックの習得と制作プロセスを理解します。	1 • 前	240	8			0	0		0	0	
19		0		マンガ実習2	マンガ制作の基本テクニックの習得と制作プロセスを理解します。	1 · 後	240	8			0	0		0	0	
20			0	校外研修1	海外、国内研修旅行などに参加し、自己啓発 力を養います。	1 • 通	60	2	0				0	0		
21			0	スポーツ実習 1	スキー研修などに参加し、運動能力を養いま す。	1 • 通	60	2	0				0	0		
22	0			キャリアデザ イン2	企業への就労やインターンシップ、ネットコ ミュニケーション等で役立つ知識やマナーを 学びます。	2 · 通	60	4	0			0		0		
23	0			ICT活用1	PCやインターネットの正しい活用法を学び、 情報社会での適応能力を養います。	2 · 前	30	2	0			0		0		
24	0			ICT活用2	office系ソフトを活用できるスキルを学びま す。	2 · 後	30	2	0			0		0		
25	0			メディア研究 3	様々な作品の時代背景や表現技法などの考察 から、今後の作品制作の発想力を養います。	2 · 前	60	4		0		0		0	0	
26	0			メディア研究 4	様々な作品の時代背景や表現技法などの考察 から、今後の作品制作の発想力を養います。	2 · 後	60	4		0		0		0	0	
27		0		AC概論3	アニメーション業界の知識、職種を学ぶとと もに、必要な人材となる為の表現力を高めま す。	2 · 前	30	2	0			0		0		

	П		I									
28	0	AC概論4	アニメーション業界の知識、職種を学ぶとと もに、必要な人材となる為の表現力を高めま す。	2 · 後	30	2	0		0	0		
29	0	CC概論3	ゲーム業界の知識、職種を学ぶとともに、必要な人材となる為の表現力を高めます。	2 · 前	30	2	0		0	0		
30	0	CC概論4	ゲーム業界の知識、職種を学ぶとともに、必要な人材となる為の表現力を高めます。	2 · 後	30	2	0		0	0		
31	0	MC概論3	マンガ業界の知識、職種を学ぶとともに、必要な人材となる為の表現力を高めます。	2 · 前	30	2	0		0	0		
32	0	MC概論4	マンガ業界の知識、職種を学ぶとともに、必要な人材となる為の表現力を高めます。	2 · 後	30	2	0		0	0		
33	0	デッサン実習 3	就職活動で活用できる実践的なデッサン力を 習得します。	2 · 前	60	2		0	0	0	0	
34	0	デッサン実習 4	就職活動で活用できる実践的なデッサンカを 習得します。	2 · 後	60	2		0	0	0	0	
35	0	ドローイング	マンガ制作における高度な専門ツールの使い 方や制作技法を学びます。	2 · 前	60	2		0	0	0		
36	0	ドローイング 2	マンガ制作における高度な専門ツールの使い 方や制作技法を学びます。	2 · 後	60	2		0	0	0		
37	0	アニメーショ ン実習3	専攻別でアニメーション制作工程ごとの就職 に必要な専門ツールや技法を習得します。	2 · 前	240	8		0	0	0	0	0
38	0	アニメーショ ン実習4	専攻別でアニメーション制作工程ごとの就職 に必要な専門ツールや技法を習得します。	2 · 後	240	8		0	0	0	0	0
39	0		キャラクターデザインやイラスト制作の応用 テクニックの習得とゲーム制作に必要なデザ インスキルを習得します。	2 · 前	240	8		0	0	0	0	
40	0		キャラクターデザインやイラスト制作の応用 テクニックの習得とゲーム制作に必要なデザ インスキルを習得します。	2 · 後	240	8		0	0	0	0	
41	0	マンガ実習3	マンガ制作の応用テクニックやアシスタント スキルを習得します。また、出張編集部に向 けて作品制作します。	2 · 前	240	8		0	0	0	0	
42	0	マンガ実習4	マンガ制作の応用テクニックやアシスタント スキルを習得します。また、出張編集部に向 けて作品制作します。	2 · 後	240	8		0	0	0	0	

43		0	校外研修2	海外、国内研修旅行などに参加し、自己啓発 力を養います。	2 • 通	60	2		0	0		0		
44		0	スポーツ実習 2	スキー研修などに参加し、運動能力を養いま す。	2 · 通	60	2		0	0		0		
		合	計	44	. 1	科目			4320	単	位(	単位	時間	)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件: 卒業時に必修科目360時間および選択科目1380時間以上取得し、合計1740時間以上取得すること。	1 学年の学期区分	2 期
程度を1年次は必修360時間、選択を540時間以上履修すること 2年次は選択を840時間以上履修すること 2年次は選択を840時間以上履修すること	1 学期の授業期間	15 週

# (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。